

17道府県と5市

震災がれき

受け入れ前向き回答

環境省まとめ

東日本大震災で発生した岩手、宮城両県のがれきの広域処理をめぐり、政府が文書で要請した35道府県と10政令指定都市のうち17道府県と5市が受け入れに向けて回答をしたことが12日、環境省のまとめで分かった。広域処理への協力方針や、受け入れを検討している市町村名を示すなどしている。

同日は、近く開かれる関係閣僚会合で報告した上で、これらの自治体に対して、受け入れるがれき量などを示した具体的な協力要請を検討する。ただ住民の理解や最終処分場の確保などを前提条件に挙げた自治体も多く、広域処理の必要性や安全性について国の説明不足を指摘する回答も目立ち、広域処理が大きく加速するかは不透明だ。

環境省の11日時点のまとめによると、受け入れへ協力を表明したのは愛知など8道府県4市。受け入れを検討している市町村やがれき量を具体的に回答したのが富山など3県1市で、受け入れを検討中の市町村名を挙げたのは新潟など6府県だった。

近く回答するとした奈良県を除く残りの17県5市は「安全性が明確でないがれきを受け入れられない」（札幌市）といった否定的な見解や、現時点で受け入れ可能な市町村がないことなどを回答した。

政府は3月16日、がれき受け入れについて具体的な検討が進んでいなかった35道府県10政令市に野田佳彦首相名の要請文書を発送。4月6日までに検討状況を回答するよう求めていた。

国の文書要請に対する35道府県と10政令市の回答状況

□…受け入れ自治体と量を回答
◇…受け入れ自治体名を回答
☆…受け入れ方針を回答 —…その他

都道府県		徳島	島根	—
北海道	☆	香川	媛川	—
青森		愛媛	知媛	—
秋田		高知	岡知	◇
山形		福岡	佐賀	—
茨城	☆	長崎	熊本	—
栃木	☆	熊大	宮分	—
群馬		鹿島	児島	—
埼玉		沖縄		—
千葉	☆	政令指定都市		
東京都		札幌市		—
神奈川県		さいたま市		—
新潟県	◇	千葉市		☆
富山県	□	横浜市		—
石川県	□	川崎市		—
福井県	—	相模原市		—
山梨県	—	新潟市		☆
長野県	◇	静岡市		—
岐阜県		浜松市		—
静岡県		名古屋市		—
愛知県	☆	京都市		☆
三重県	☆	大阪市		—
滋賀県	◇	堺市		—
京都府	◇	神戸市		☆
大阪府	☆	岡山市		—
兵庫県	☆	広島市		—
奈良県	未回答	北九州市		□
和歌山県	—	福岡市		—
鳥取県	◇			
島根県	☆			
岡山県	—			
広島県	—			
山口県	—			

※環境省は、この9道府県と8政令市については、すでに受け入れを表明したとして今回の要請対象から外している。4月に政令市となった熊本市も対象外